

城崎温泉旅館協同組合

城崎温泉では、環境保全を目的に旅館協同組合に加入する全旅館で2022年12月24日より宿泊時に利用する歯ブラシ等の持参の呼びかけや生分解性プラスチック製アメニティの提供を開始しました。また、他団体と協力し温泉街や周辺地のクリーン作戦に取り組んでいます。



株式会社カネカ

株式会社カネカは、化学を通じて世界の人々の人生と環境の進化に貢献することを目的に、様々な社会課題にソリューションを提供することを目指しています。報告会では、海水中でも生分解するカネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet®の開発の取り組みを紹介します。



株式会社ダイセル

ダイセルグループは、100年以上に渡り木質バイオマス等を原料とする植物由来のセルロース誘導体を製造・販売する企業です。植物由来、海洋生分解性、透明性を有するユニークな素材である「木からできて自然に還る素材」酢酸セルロース樹脂セルブレ®ECの用途開拓を進めています。



イオンリテール株式会社 テラサイクルジャパン合同会社

Loop は、従来使い捨てられていた洗剤やシャンプーなどの日用消耗品や食品などの容器や商品パッケージを、ステンレスやガラスなど耐久性の高いものに変え、繰り返し利用を可能にすることで使い捨てプラスチックの削減を目指す循環型ショッピングプラットフォームです。



株式会社エフピコ

エフピコでは、リサイクル原料を使った食品トレー作りを「トレー toトレイ」、「ボトル to容器」と呼んでいます。トレーからトレーに生まれ変わる「資源循環型リサイクル」を1990年に世界で最初にスタートしたのがエフピコ。PETボトルから透明容器へのリサイクルも皆様のご協力をいただきながら進めてまいります。



日本たばこ産業株式会社兵庫支社 株式会社ピリカ

県民の皆様が、ごみ問題を自分事として捉えるきっかけとして、「クリーンアップひょうご」をJT・兵庫県環境部・株式会社ピリカの三者共同で運用開始しました。現在はJTのRethinkPROJECTの一環として取り組んでいる「ひろえば街が好きになる運動」等のイベント会場にて「ピリカ」の周知活動を行っています。



株式会社アシックス

株式会社アシックスは、スポーツを通じて人々の心と体を健康にすることを使命としています。そのためには、快適に走れる健やかな地球環境が不可欠です。健全な心身、健やかな環境が将来世代まで続くよう私達が取組むサステナビリティの事例をご紹介します。



須磨里海の会

2017年に一部遠浅化された須磨海岸で、地産地消の潮干狩りと豊かな海を目指すアマモ場づくり、そして好奇心を刺激する楽しい海の学びの提供に取り組んでいます。2022年の活動から、地域とともに海を豊かにしようと始めた行動の数々を紹介します。



相生湾自然再生学習会議

カブトガニがいたころの自然豊かな相生湾に蘇らせる取組「藻場・干潟の取組み」や、絶滅危惧種「シバナ」の保護活動、播磨灘の豊かさを知る「チリモン学習」など地元小学校、中学校、高等学校と連携して取り組んでいます。美しい里海の取り組みは、海岸や河口の漂着物回収をしています。



特定非営利活動法人アマモ種子バンク

明石市江井島海岸の自生アマモ場で子ども達や市民の手で小さな地曳網を曳き、アマモ場の生物調査を体験し、獲れた生き物を自分の目で見て、手で触れることで、海のゆりかごとしてのアマモ(アマモ場)の大切さを実感してもらい、アマモ(アマモ場)再生を含む海の環境、生態系の保全に関する関心、理解を深めてもらっています。



江井ヶ島漁業協同組合 東洋建設株式会社大阪本店

明石市江井島海岸等において、漁場環境の向上、水質改善、海岸環境保全を目的とし、地元と連携した清掃活動やアマモ場保全に約20年努めてきました。また、大学等と連携したアマモの生態研究も行い、これらの成果を明石子子線の海岸より全国に発信しております。



神戸海さくら

須磨海岸の海洋環境保全と利用者のマナーアップを目的として、毎月定例のビーチクリーンと海水浴開催期間中のごみの分別収集の呼び掛けを行っています。今年度は計37回のビーチクリーンを行い、延べ2744人が参加しました。また、海の恵みを体験し、学べる活動として、地引網体験や潮干狩り、環境セミナー等を開催しました。



兵庫県立尼崎小田高等学校

地元の海的环境について課題研究をしています。マイクロプラスチックに着目して、その調査から現状把握をし、生成や流入過程を探り、削減へ向けて考えていくことを目指しています。また本校主催で、今年度12回目になる「瀬戸内海の地域課題解決に取り組む高校生サミット」を開催しています。



公益財団法人ひょうご環境創造協会

現在、プラスチック製品等による海ごみ問題が顕在化していますが、海ごみの実態、問題について県民に十分に理解されているとは言い難い状況です。このため、「循環型社会推進基金」を活用した「海ごみ企画展」を計画し、神戸市立須磨海浜水族館等にて実施したので、その内容を報告します。



ひょうご環境保全連絡会

本会は、県内事業者など約500の会員で構成された環境団体です。生活環境の保全に加え、温暖化防止、生物多様性及び資源循環など、環境の保全と創造を推進することで、豊かで美しいひょうごの実現を目指し、環境学習や研修会の開催、地域団体の活動支援、啓発資料の作成など、様々な活動を行っています。



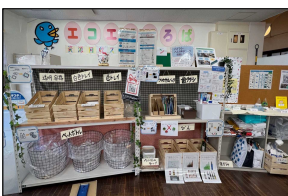
国土交通省近畿地方整備局港湾空港部

国土交通省では、脱炭素社会の実現に向けて、港湾における「カーボンニュートラルポート(CNP)」の形成に取り組んでおり、その一環として、CO2吸収源であるブルーカーボンを活用した港湾・沿岸域における環境価値の創出に関する検討を進めています。藻場や干潟の保全活動により創出したCO2吸収量について、企業等との間で試行的にクレジット取引する、ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度の紹介をいたします。



神戸市環境局

神戸市では、拠点回収・店頭回収等を通じて、リサイクルしやすい品目を重点的に回収することにより、合理的にプラスチック資源を循環させる「まわり続けるリサイクル」の取組みを推進しています。同時にリサイクル技術の革新を目指す企業との協働により先進的な取組みにチャレンジしています。



東播磨2市2町(高砂市・加古川市・稲美町・播磨町)

東播磨2市2町(高砂市、加古川市、稲美町、播磨町)は、高砂市に工場のあるサントリーと「ボトルtoボトル」に特化した協定を締結し、使用済みのPETボトルを燃やさず永久にリサイクルし続ける地域を目指しています。



ひょうごローカルSDGs ～つながろう私たちの海を守るために～ 活動報告会

2023年
3月20日(月) 13時30分～16時00分

【開催場所】兵庫県民会館 11階 パルテホール(神戸市中央区下山手通4-16-3)

プログラム

- 13:30 オープニング(あいさつ・趣旨説明)／兵庫県 菅 範昭 環境部長
- 13:45 第1部 事例紹介
- 15:15 第2部 ポスターセッション 兼 交流会
- 15:45 総括／兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 高田 知紀 准教授
- 15:55 クロージング

-----メモ欄（ご自由にお使いください）-----



主 催：兵庫県 / 共 催：ひょうご環境保全連絡会
後 援：公益社団法人瀬戸内海環境保全協会、公益財団法人ひょうご環境創造協会、
ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会